

有寿命部品と機器の故障（寿命）について

1. 有寿命部品とは

使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品のことを有寿命部品といいます。

本体の無償保証期間内であっても有寿命部品に対しては部品代が有償となる場合があります。一般的に有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年程です。

部品としては、送風ファンやメカニカルリレー、電解コンデンサやヒューズなどが該当します。

2. 機器の長期使用時の注意事項

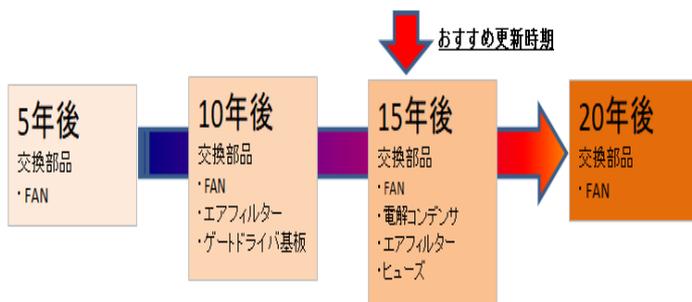
弊社製品の期待寿命は種類にもよりますが、定期的な点検・部品交換を実施して大凡15年です。

期待寿命はご使用環境や運転状況により変化しますので、安全に末永くご使用いただくためにも、定期的な機器の点検・有寿命部品の交換を推奨しています。

また、機器の周辺が高温・多湿の場合や、粉塵・油脂等の雰囲気であったりする場合は、機器内部の部品寿命は期待値よりも短くなる傾向がありますのでご注意ください。なお、弊社では定期点検を1年周期、定期部品交換をおよそ5年周期でおすすめしています。

また、製品を長期間ご使用されない場合であっても、定期的に一定時間の試運転を行なう事をおすすめしています。

以下に推奨している点検交換スケジュール事例を示します。



*各部品寿命は、ご使用環境(温度、湿度、塵埃、油脂)により大きく左右されます。

*定期点検実施は年に1回を推奨致します。

3. 故障事例

コンデンサ破裂



埃堆積



油脂汚れ



ファンの詰まり



錆



カーボン汚れ



定期的な保守点検をおすすめします。
問題なく使えているから・・・しかし、知らないうちに写真のような状況になっているかも？！

4. 点検を行うメリット

- ①: 電源機器の安定稼働が期待できます
 - ・有寿命部品破損による、操業停止や感電、発火等も未然に防止する事ができます。
- ②: 電源機器の長寿命化を図れます
 - ・電源機器が常に安定して永年稼働するためには、早目の点検で、動作不良を起こしてしまう前に処置(早期発見・早期交換)を行う事をおすすめします。
 - ・定期点検、部品交換により、特性の変化や、突然の故障の発生を未然に防止することができます。
- ③: 故障による修理費(急な出費)を抑制
 - ・劣悪な設置環境、経年劣化、部品寿命などの要因によって徐々に劣化が進行し、ある日突然故障する事例が多く見受けられます。
 - ・定期点検で性能を維持し、万一のトラブルを未然に防ぐ事で、結果的に無駄な出費を抑えられます。